

## 8月定例会報告

8月13日(土) 午後1時30分～5時

会場：立川・NHK会議室 出席者12名

真夏にしては比較的涼しい中、8月の例会が開催されました。黒田さんと(株)アース・オンの塩原さんの2名のアドバイザーから会員の発表作品についてアドバイスを頂きました。会員8名と見学者2名の参加者がありました。そのうちの一人、榎崎さんが正式に入会を申し込みました。司会は加藤代表幹事が務めました。



### 1.自主作品の発表と講評

片山正晴さん 「高幡不動(1)あじさいまつり」 8



分20秒  
あじさいの名所高幡不動を訪れた。盛りを過ぎて

いきましたが、種類が多く、いろいろのあじさいを楽しめました。評：不要な”同ポジ”はやらないこと。山あじさいが目的なので、平地のあじさいは削除したほうが良い。土方歳三像のナレーションと画像がマッチしない。

渡辺 實さん 「サクラの頃」 3分35秒



満開のサクラを中心に昭和記念公園で花々を撮影した。沢山の花見客で大賑わいだった。チューリップ、ポピー、菜の花、ツツジなどが咲き乱れ、絶好の撮影タイミングだった。評：絵は綺麗だが、もっとアップが欲しい。自分撮りが焼きそばを食べるカットだけだったが、花々を説明しながらの自分撮り

をすると良い。“花いかだ”が良かったので、もっと膨らませて見せたかった。

中山公子さん 「青梅塩船観音つつじまつり」 5分

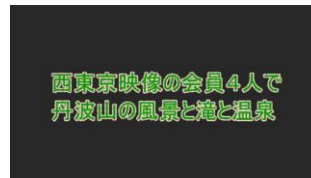


53秒

5月に毎年行われる塩船観音つつじまつりへ行って参りました。紫燈護摩、

火床三昧と火渡り行の参加と撮影して参りましたが、編集にどこかへ消えてしまいました。そのため、本編は来年、撮影して編集する予定です。評：知人との撮影で寄りの画像が多く、まるで事件現場のような映像になっている。周りに影響されないような、公園などで撮影練習をしてみる。ロングやフィックス映像をしっかりと撮る。アップの画像が欲しい時はズームではなく、なるべく近寄って撮ること。事前に撮影の計画を立てていく。映像が無くなった場合でも、編集によって見せ方ややり方はある。

岩沢 初男さん 「丹波山の滝とお祭り広場」 9分2



0秒

丹波山の旧青梅と滝とお祭り広場の撮影をしてみました。キャノンEOSの

カメラ動画撮影をしました。ズームを使うとスムーズにいきません。なめらかに撮影するのに良い方法がありますか？評：せっかくきれいに撮れているので、ズームが難しいカメラならカットでつないだほうがいいのではないかと。セムサイズのカットが続く場面があるが、ロングとアップを組み合わせると構成したい。同じ場面内でエフェクトはかけないほうが良い。テロップも、もう少し丁寧に入れたほうが作品の完成度が高くなる。

黒澤 眞さん 「夏の四国紀行その一」 9分18秒



(HD)

夏の暑い真っ盛り四国の2大祭りを見に行きました。その1では土佐の高

知の桂浜で坂本竜馬に会った後、市内でよさこい祭りで盛り上がりました。評：多数のよさこい参加チームを記録として残すには構わぬが作品とするなら少し整理した方が良さそう。踊りの中に入って撮影出来ればベターだが。高知の桂浜、はりまや橋、高知城等の情報が多く入っていて参考になる。気になる同ポジは無かった。

### 中村能己さん 「どこかで不思議ストーリー-2」 9



分59秒

ドラマ、どこかで不思議ストーリーのシリーズ第2話。第1話で登場する

お婆さんが50年後の自分だと知る居酒屋“もも”の店主。今度は友達清水君により、益々混乱する主人公。評：電話の音がききづらい。電話とはいえ、内容がわからないと物語の意味が通じなくなってしまふので注意。BGMの音が急に途切れてるのでフェードさせる。照明をレフ版を使ったりとか工夫が必要。ブルーバックを使い、背景にもっと不思議感を出すといい。素人の役者さんにしては面白い人達だと伝わった。

### 2.最近掲示板に投稿された記事

#### 映像データのバックアップ

最近4K撮影を始めたのですが、メモリを多量に消費します。今まではブルーレイに撮影したデータをバックアップしていたのですが、4Kでは1回の撮影データが1枚で収まりきらなくなりました。ハードディスク(以下HDD)は故障率が高いので、2台のHDDに同じデータを同時に書いていく、ミラーリング装置(RATOC RS-EC32-U3R)を購入しました。PCへの接続はUSB、HDDは市販品の同じ容量を2台使用すればよく、装置も数千円というものです。書き込み速度は速いので、ブルーレイとは比較にならないほど便利です。比較的価格のこなれた3T(テラ)のHDDを使用していますが、いっぱいになったら別のHDDに入れ替え、記録したHDDはペアで管理するようにします。問題は、この状態で何年も保管して大丈夫かということですが、定期的にチェックは必要になります。

by Araki

## みんなの広場



アマチュアからプロへ

伊藤 幸晴

私がこのビデオクラブに入会してからいつの間にか十年以上が経ちました。その間、会員の皆さんやNHKのカメラマン、そして制作の方々からのアドバイスをいただき、自分の映像制作レベルも入会当時と比べるとずいぶん上達したのではないかと自負しています。

さて、昨年脱サラを決断し、映像で食べていくという選択をしました。趣味から始めたビデオがまさか本業になるとは思いませんでした。仕事として映像を制作するということは、それなりの覚悟が必要です。今、その山を乗り越えて行くという挑戦をしようと思っています。

### 10月例会のお知らせ

10月 8日(土)午後 1時 30分～ 5時

早いものでもうすぐ紅葉の季節です。

撮影会の計画をたてましょう。

良い案を考えておいてくださいネ!!!

(編集後記)

ついに8Kの試験放送が始まりました。一般的にはなじみの薄いものですが、4年後の東京オリンピックの頃には普及していくかもしれません。10年以上前の愛知万博の頃は夢の映像だったものが、徐々に現実的になってきました。ハイビジョンの16倍という高精細な撮像素子を使用した機材が、いつ頃アマチュアの手が届くか、今から楽しみです。

(荒木 勉 記)